

平成30年度

## 3年生学習定着度に関する調査結果について

本年度は7月に「学習定着度に関する調査」が実施されました。その結果とそれを受けた取り組みについてお知らせします。

調査の目的は、児童の学力の状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育の成果と課題を明確にし、学力向上の取り組みを充実させることにあります。

○…よかった項目 ●…課題があった項目

### 【 算数 : 福岡市平均と同程度である 】

- ◎ 数量や図形についての知識・理解
- 数学的な考え方

福岡市の平均と比較すると、「同程度」に分類されますが、全体的にはやや上回っています。特に、数量や図形についての知識・理解の観点は力がついています。

「かけ算の分配法則」や「倍の意味」については正しく理解し、計算ができていた児童が大変多くなっていました。一方「かけ算・わり算」の基本問題に間違いが多く、慌てて計算ミスをしてしまう等のケアレスミスが目立ちました。また、文章問題では出題の意図を理解していない児童も見られました。

今後は、学習したことを忘れないように定期的に前の学習を復習することと、文章題の読み取りに慣れることに力を入れていきます。